

Question

問題1 入口から本線に合流します…



合流

Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

問題1 参考

Reference

問題1

入口から本線に合流します…

- 合流しようとする本線は、2車線とも渋滞していますが、入れそうな隙間がチラホラ見えます。
- 先に入口から入った前方車が合流しようとしています。



このような状況ではこんな危険があります

本線が渋滞時に強引に合流すると、**接触事故**や**渋滞悪化**の原因となることがあります。また、合流に気を取られてばかりいると、**前方の合流車へ追突**したり、**合流長が足らなくなる**危険性があります。

ここに気をつけて運転してください

本線が渋滞時の入口からの合流は、**車間距離と合流長**が十分あることを確認しながら、本線を走行する車に速度をあわせて、**交互に緩やかに合流**(ファスナー合流)しましょう。

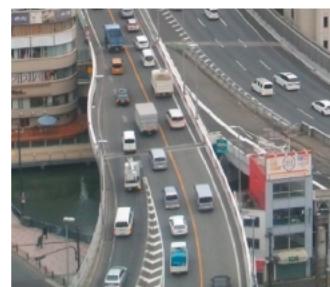
ポイント

マナーよく交互の合流を心掛けましょう

- 本線が渋滞時の合流はスムーズにいきにくいものです。加速車線の適度な位置で無理せず交互に合流することを心掛けてください。
- 強引な合流は本線の走行車とのトラブルや接触事故につながることもありますのでご注意ください。
- また、渋滞に強引に割り込むと本線の走行車の不必要なブレーキを誘発し、それらが後続に伝搬することで、さらに渋滞を悪化させてしまうことも少なくありません。
- 一方で、合流にばかり気を取られていると、前方への注意が疎かになり、前方の合流車への追突事故や、合流長が足らなくなりかえって合流しにくくなることもありますので、前方への注意もお忘れなく。



合流では車両相互関係の正しい認識が重要



凹滑な交互通合が事故や渋滞悪化を回避

Question

問題2 渋滞中を走行しています…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

渋滞

問題2 参考

問題2

渋滞中を走行しています…

- 2車線とも発進と停止が繰り返されています。
- 車間は詰まっていますが、車が流れ出すとチラホラと隙間が空きます。
- 隣車線前方の車のブレーキランプが点灯しました。



このような状況ではこんな危険があります

渋滞内走行中は発進・停止が不規則に繰り返されているなか、運転も単調で前方への注意を欠きがちなため、不意の減速への対応が遅れて追突するといった事故が頻発しています。また、隣車線の車が隙間に割り込んでくることも考えられます。

ここに気をつけて運転してください

渋滞中は前方への注意を怠らず、予め車間距離を確保して前方車のブレーキに即座に対応できるよう数台前の車にも気を配ることが重要です。また、隣車線の車の割り込みにも注意してください。

ポイント

意外と多い渋滞中の事故! 渋滞中は前方車の不意の減速にも対応できる車間距離の確保を!

- 渋滞内走行中は運転が単調なため、前方への注意が疎かになりがちです。また、走行中のナビや携帯電話の操作は道路交通法違反ですので、絶対におやめください。
- 渋滞内走行中は車間距離が短く、合流や割り込みなどによるちょっとしたブレーキが伝搬しやすいため、発進・停止が不規則に繰り返されがちですので、予め車間距離を確保しておくと、前方車の不意のブレーキにも対応できます。
- 車が流れると車間距離が空いて、隣車線から強引に割り込む車もありますので、注意が必要です。
- なお、強引な割り込みは当該車線の走行車の不必要的ブレーキを誘発し、それらが後続に伝搬することで、さらに渋滞を悪化させてしまうことも少なくないことを十分認識しておきましょう。



出典：阪神高速道路株式会社
(平成17年4月～平成20年12月)
意外と多い渋滞中の追突事故



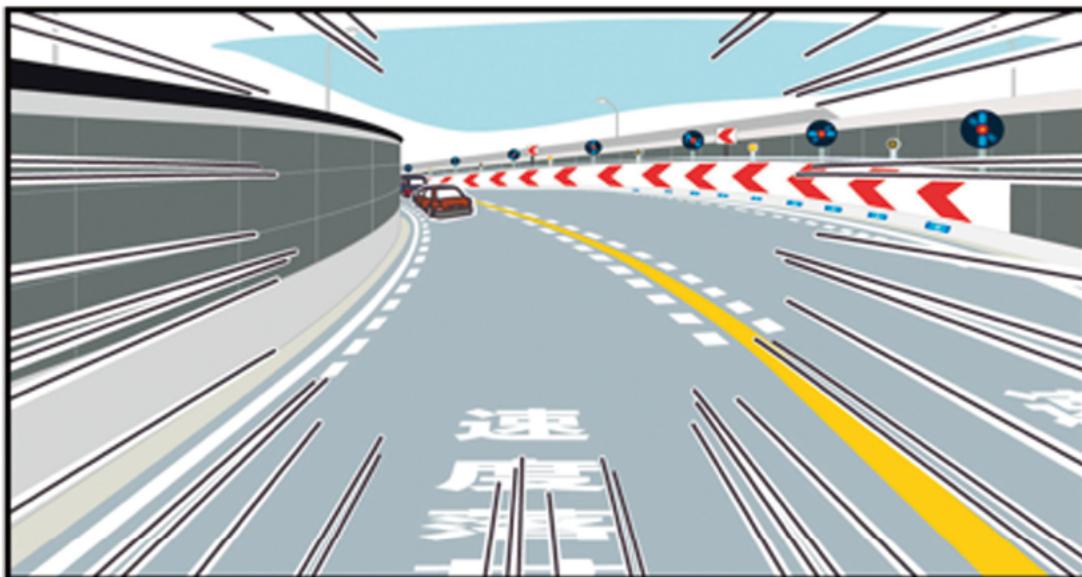
渋滞中は不規則な発進・停止の繰り返し



強引な合流や割り込みは渋滞悪化の原因に

問題3 カーブ区間に進入します…

Question



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

問題3 参考

問題3

カーブ区間に進入します…

- 路面表示や減速マークが見えました。
- 自車は猛スピードで走っています。
- 前を走る車がカーブの先で見えなくなりました。



このような状況ではこんな危険があります

都市高速では至る所に急カーブがあります。このようなカーブでは、**スピード超過によるスリップ**などの事故が多発しています。また、**カーブの死角で渋滞**が発生していることもあります。高速のまま突っ込むと重大事故になりかねません。

ここに気をつけて運転してください

事故の多い急カーブでは、手前に急カーブを示す**看板**や**路面表示**、**減速マーク**が設置されているので、それらが見えたなら、カーブに入るまでに十分に減速することが重要です。また、**カーブの死角に低速車等**がいることも想定して慎重に運転することも都市高速のカーブを運転する際のポイントです。

ポイント

都市高速のカーブの特徴を知っておきましょう

- 都市高速のカーブでは、スピード超過が原因で、(特に雨天時に)スリップして側壁や周囲の車に接触する事故が多発しています。
- 都市高速のカーブは、思った以上に急と感じることがあるかもしれません。カーブ手前で看板や路面表示、減速マークや側壁の矢印表示などで必ず事前に注意を促していますので、これらを見て十分に減速すれば安全に走行できます。
- また、渋滞がカーブの死角で発生していることもありますので、渋滞発生の可能性を想定し、道路情報板などで渋滞情報を確認しながら、見通しの悪いカーブでは慎重に運転することが重要です。
- なお、自身が渋滞後尾になった際は、ハザードランプを点灯して後続に知らせてあげましょう。



カーブでの事故は特徴を知つておくことが重要



急カーブではスピード超過による事故が多発

Question

問題4 環状線を走行しています…



環状線

Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

問題4 参考

Reference

問題4

環状線を走行しています…

- 合流車が見えます。
- 前方に右側へ車線移行する車が見えます。
- 右側車線から車が追い越してきました。
- 前方に数台の車のブレーキランプが見えます。



このような状況ではこんな危険があります

環状線は、**交通量が多く、分岐と合流の距離も短く連続**しているため、早く目的の車線に移行したいという意識が働きがちで、**合流直後に車線移行の集中・錯綜**が頻発しています。

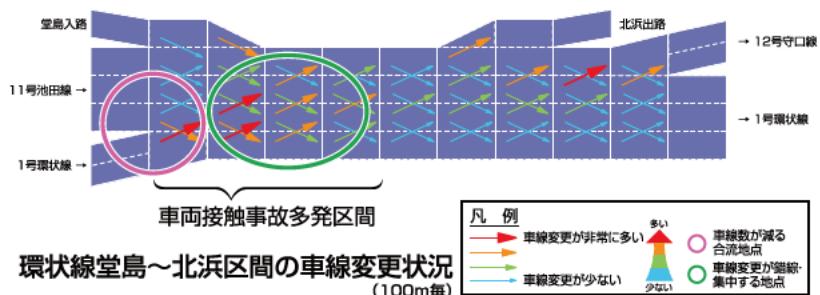
ここに気をつけて運転してください

環状線の合流部では、**車線数の減る合流地点**での接触事故に特に注意が必要であるとともに、合流後も次の分岐までの距離を確認しながら、あわてず目的の車線に移行しましょう。なお、**分岐手前では車の流れが悪くなる**ことが多いので、方面確認などで前方不注意にならないよう気を付けましょう。

ポイント

環状線の走行は車線移行の集中する区間が要注意!

- 環状線では、合流直後に極端に車線移行が集中・錯綜する傾向があるので、周囲の車の強引な車線移行や車線移行に伴う不意の減速に注意が必要です。
- そのため、無理はせず、合流直後に集中する車線移行がおさまってから車線移行する方が安全な場合が多いです。
- 一方、環状線の分岐部は出口とジャンクションが連続しているなど、複雑な構造になっている個所も多く、車の流れが急に悪くなることもあるので、方面確認などで前方不注意状態にならないよう心掛けましょう。また、急な減速は後続の追突危険性を高めることになることを十分認識しておきましょう。



Question

問題5 前方にトラックが走行しています…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

落下物

問題5 参考

問題5

前方にトラックが走行しています…

- 前方に荷物を積んだトラックが走っています。
- 隣車線にも車が走っています。



このような状況ではこんな危険があります

都市高速では、積載不良車からの落下物が数多く発生しています。**積み荷に幌やシートの掛かっていない**トラックには特に注意した方がいいでしょう。また、**落下物を避ける車との接触**にも注意が必要です。

ここに気をつけて運転してください

積み荷に幌やシートの掛かっていないトラックの後ろを走行する場合は、**車間距離**を十分にとっておくことをお勧めします。

ポイント

意外と多い落下物!傾向をよく知っておきましょう!

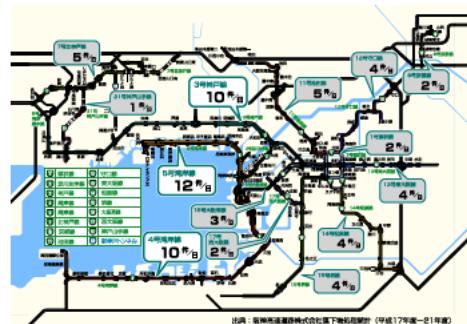
- 阪神高速道路では、一日に約60件の落下物が発生しています。また、落下物に関する事故は毎日1~2件発生しており、特に落下物は風の強い日や、湾岸線で多く発生しています。

後続車の安全のために落下物を見つけたら通報を!

- 落下物を見つけたら、後続車の安全のために、同乗者にお願いするか、パーキングエリアなどの安全な場所に車を停めて無料でつながる道路緊急ダイヤル「#9910」(高速道路共通)まで連絡をお願いします。落下物を通報いただくことで、早期回収につながるだけでなく、道路情報板で後続車に危険を知らせることができます。



事故につながる落下物も少なくありません



落下物は湾岸線や神戸線で多発

Question

問題6 分岐部にさしかかります…



分岐

Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

問題6 参考

Reference

問題6

分岐部にさしかかります…

- 分岐部にさしかかりました。
- 前方に出口に分岐しようとする車が見えます。
- 隣車線の後方から車が追い越してきました。



このような状況ではこんな危険があります

分岐手前では、車線移行や標識での方面確認などに気を取られて、**前方への注意が疎か**になりがちです。また、分岐付近では、急な割り込みなど、**周囲の車が予期せぬ動き**をすることもあります。

ここに気をつけて運転してください

分岐部で慌てないように、予め分岐する位置や分岐車線を頭に入れて、**余裕をもって走行する車線を選択**するように心掛けてください。それでも分岐付近では周囲の車が予期せぬ動きをすることがありますので、**車間距離を確保し、隣車線の車の動き**にも注意を払って走行してください。

ポイント

分岐部では周囲の車の不意な動きに注意!

- 分岐手前では車の流れが急に悪くなることがあり、標識などでの方面確認に気をとられて前方の車に追突する事故が多く発生しています。
- また、分岐付近では、方面を迷った前方車の突然の減速や隣車線の車の急な割り込みにも注意が必要です。
- 同様に、自身の急な割り込みや減速についても、自分が事故に遭う危険が高まるだけでなく、後続の車にも影響が及ぶことを十分認識しておきましょう。



分岐手前では前方不注意になりがち



分岐付近で前方車の急な動きに注意

Question

問題7 本線料金所を通過します…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

本線料金所

問題7 参考

Reference

問題7

本線料金所を通過します…

- 本線料金所のETCレーンに進入しようとしています。
- ほぼ同時に数台が本線料金所に進入していきます。
- ETCレーンのひとつは閉鎖中の表示が見えます。



このような状況ではこんな危険があります

本線料金所のETCブースでは、前方の車がETCトラブルなどで急停止することがあります。また、料金所ブース前後の広場では、車が錯綜し、接触事故が多発しています。

ここに気をつけて運転してください

本線料金所のETCブースでは、ETCトラブルなどで前方の車が急停止することがあることを予測し、車間距離を確保して低速で進入しましょう。また、料金所ブース前後の広場では、突然の割り込みや強引な追い越しなど、周囲の車の動きに注意が必要です。

ポイント

料金所ブースでの急停止、広場での接触に注意

- 本線料金所のETCレーンには青色の路面カラーが施されており、レーン選択の目安になります。
- 事故や工事などでブースを閉鎖している場合もありますので、直前の割り込みで周囲の車に迷惑を掛けないよう、料金所ゲートの表示をよく確認してからレーンを選択しましょう。
- ブースの選択間違いや混雑などで、突然レーン移行する車もいますのでご注意ください。
- ブースでは、ETCトラブルなどで開閉バーが開かないこともありますので十分認識しておきましょう。
- そのため前方の車が急停止することもあるので、車間距離を十分確保して低速で進入しましょう。
- 料金所通過後も(ETC車と現金車など)速度の異なる複数の車のレーン移行が錯綜しますので、周囲の車の動きに注意が必要です。



本線料金所では、追突・接触事故が多発



料金所ブース通過後は複数の車が錯綜

Question

問題8 雨の高速道路を走行しています…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

雨

問題8 参考

問題8

雨の高速道路を走行しています…

- 雨天時に高速道路を走行しています。
- 前方と隣車線にも車が走行しています。
- 前方車のブレーキランプが点灯しました。



このような状況ではこんな危険があります

路面が濡れているときは、制動距離が長くなるといわれています。また、カーブではスピード超過によるスリップ事故も多発しています。さらに、前方や後方の見通しや、隣車線の視界が悪くなりがちです。

ここに気をつけて運転してください

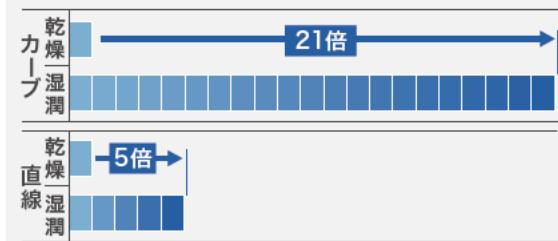
雨の日は、(特にカーブでは)速度を抑えて運転することが最も重要です。また、車間距離も晴天時より多めに確保して走行することで、危険に備えてください。

ポイント

速度を抑えるだけでなく車間距離も多めに!

- 雨の日の事故の発生確率は、直線部でも路面が濡れていない場合に比べて約5倍、カーブ区間では実に21倍多く事故が発生しています。
- 危険な状態になってからの急ブレーキはかえってスリップの原因となりますので、予め速度を抑えての運転を心掛けてください。
- また、雨の日は制動距離が1.5倍になるといわれていますので、晴天時より多めに車間距離を取るように心掛けてください。また、普段よりタイヤの溝をチェックしておくことも重要です。
- 雨天時は視界が悪くなるので車線移行時は十分気を付けましょう。また、ライトの点灯は、自身の視界が改善されるだけでなく、後続車に自車の位置を認識させる役割もあるので、早めのライト点灯をお勧めします。

雨天時の事故率比較



雨天時は事故が起きやすい



雨天時の路面は滑りやすい

Question

問題9 夜のカーブ区間を走行します…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

夜間

問題9 参考

問題9

夜のカーブ区間を走行します。…

- 周りは薄暗く、ビルの谷間を走行しています。
- カーブにさしかかる前方車のテールランプと側壁の誘導灯だけがぼんやり見えます。
- 前方のライト照射部だけが明るく、路面も見えづらい。



このような状況ではこんな危険があります

暗くなると、**他車**や**標識・看板**、**落下物**などが見えにくくなります。**スピード**も出してしまいがちなので、カーブや交通状況の変化への対応が遅れがちです。

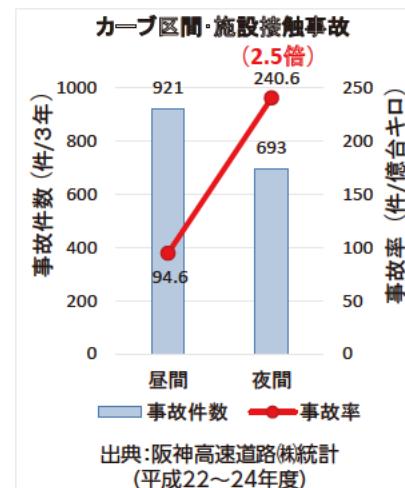
ここに気をつけて運転してください

夜間は、走行する車が少なくなり、**スピード**を出しがちですが、**他車**や**落下物**などが見えにくくなっていることを十分認識し、**スピード**を出し過ぎないよう注意して慎重に運転してください。

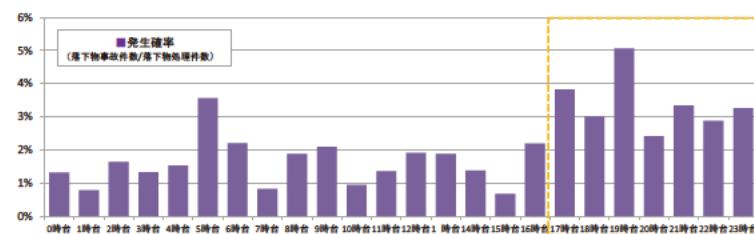
ポイント

夜間は速度の出し過ぎに注意して慎重な運転を!

- 夜間のカーブでは、側壁などに接触する事故の発生確率が昼間の約2.5倍です。
- また、薄暮時や夜間の事故は、速度が出た状態での事故が多く、重大事故につながることも少なくありません。暗くなったと思ったら早めにライトを点灯し、自身の視界を改善させるとともに、後続車に自車の位置をしっかりと認識させましょう。
- 落下物に接触する事故も起きやすくなっていますので、車間距離を取って、速度を抑え目で慎重な運転を心掛けましょう。



カーブ区間の昼夜別施設接触事故率比較



夜間は落下物事故が起きやすい

Question

問題10 出口へ向かいます…



Q1 この場面には、どのような危険がありますか？

(考え方をお書きください。)

Q2 どのような運転をしますか？

(考え方をお書きください。)

Q3 その運転は、どのような影響があるでしょうか？

(考え方をお書きください。)

出口

問題10 参考

問題10

出口へ向かいます…

- 出口から一般道路に出ようとしています。
- 前方車の先に信号が見えています。



このような状況ではこんな危険があります

高速道路出口に分岐してすぐは高速走行のイメージが継続して**スピード**の出し過ぎになりがちです。都市高速では出口の先が交差点の場合が多く、**信号待ちの車列**への追突に注意が必要です。

ここに気をつけて運転してください

高速出口に分岐したら、**車間距離**を十分に確保し、**減速**してください。また、高速出口は下り坂になっている場合が多く、見通しの悪いカーブになっている場合もあります。特に下り坂の先に信号がある場合は、**信号待ちの車列への追突**などに対して、より一層の注意が必要です。

ポイント

高速出口はまず減速し、車列への追突に注意!

- 高速出口で発生する事故の半分以上は追突事故です。
- 都市内の高速道路は、出口の先が交差点の場合が多くなっています。そのため出口接続交差点からの信号待ち車列が伸びていることも多く、ピーク時には本線上まで延伸する場合もありますのでご注意ください。
- 高速出口は大半が下り坂になっていますので、分岐するときは減速することを心掛けよう。
- 出口の端末では、接続交差点に関する案内標識や路面表示がある場合が多くなっています。これらに気を取られて前方への注意が疎かになったり、急な車線移行やブレーキで後続に迷惑を掛けることのないよう心掛けましょう。



高速出口の事故形態内訳
(阪神高速道路株統計(平成22~24年度))



特に見通しの悪い出口では信号待ち車列に注意